

# 経営比較分析表（平成29年度決算）

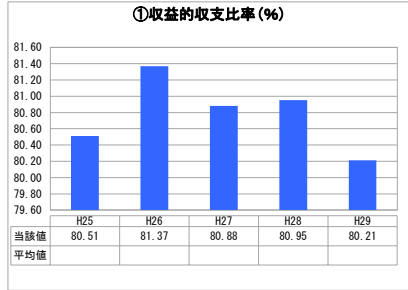
岐阜県 中津川市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ <sup>3</sup> 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	26.22	83.82	3,672

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
79,633	676.45	117.72
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
20,738	6.30	3,291.75

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成29年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



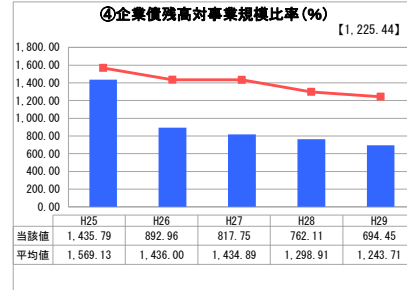
「単年度の収支」



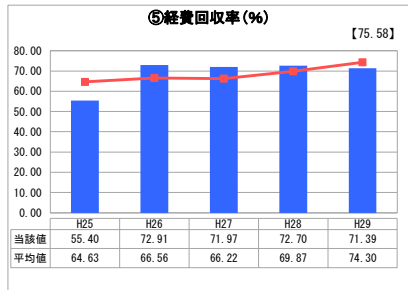
「累積欠損」



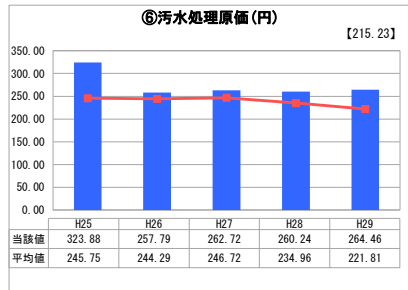
「支払能力」



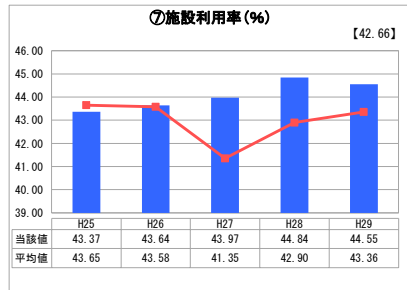
「債務残高」



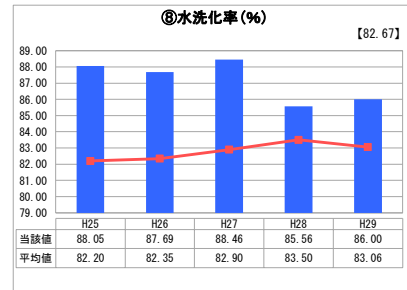
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

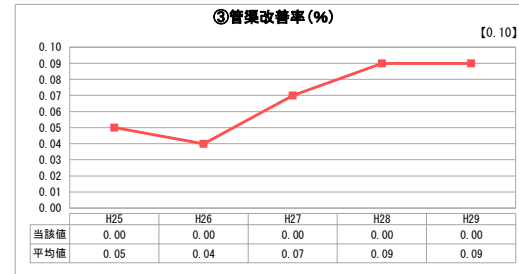
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

●収益的収支比率 企業債残高対事業規模比率 H28に引き続き、総収益は増加、総費用は減少し、順調に推移しているものの、地方債償還金が増加した結果、収益的収支比率は低下しました。引き続き、経費削減に努めるとともに、H32の地方公営企業法適用に向けて準備を進め、経営改善に努めます。

『企業債残高対事業規模比率』については、順調に減少しております。引き続き、必要最低限の借入のみ行い、健全経営に努めます。

●経費回収率 料金収入の増加割合と汚水処理費の増加割合とが拮抗し、横ばいで推移しています。引き続き、水洗化を推進し、経費削減に努めます。

●汚水処理原価 中山間地域で地理的要因により処理施設が多く点在しており維持管理費が高いため、類似団体平均値より上回っています。引き続き経費削減により汚水処理原価の引き下げに努めます。

●施設利用率 市内観光地に立地する施設が多いことから観光客の増加に伴い、処理水量が増加していると考えられます。当市を訪れる観光客は近年増加傾向にあるため施設利用率も上昇傾向にあります。

●水洗化率 水洗便所設置済人口の減少割合より処理区域内人口の減少割合が多いため上昇しましたが、水洗便所設置済人口は減少しています。今後も戸別訪問等により水洗化促進に取り組んでいきます。

### 2. 老朽化の状況について

7処理区の供用開始がH9からH15の間であり管渠の更新時期はまだ到来していないが、老朽化率の上昇に備えて、ストックマネジメントによる計画的な更新を図ります。

### 全体総括

当市の人口は今後も減少が予想されており、処理区の中でリニア開業に関連する地域が少ないことから有収水量は伸び悩むと考えられます。また、一般会計繰入金については地方交付税が減額されていく中で必要とする繰入額が確保できない可能性を排除できません。長期的に経営状況は徐々に厳しくなっていくと考えられます。当市は官民連携などにより経費削減に努めるとともに、H32の地方公営企業法適用に向けて準備を進め、適正な受益者負担を検討しつつ、将来の設備更新にも備えた持続可能な下水道経営の確立を目指し、引き続き経営改善に努めます。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。  
 ※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。